

スコアシート		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	建物全体	住居・宿泊
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数		解説シート の採点結果	解説シート の採点結果
0 建築物の環境品質・性能						3.4		
Q-1 室内環境			0.30			3.1		
1 音環境		3.0	0.15	-	-	3.0		
1.1 騒音		-	-	-	-			
1 1 暗騒音レベル		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
2 設備騒音対策		3.0	-	3.0	-		-	-
1.2 遮音		3.0	0.70	-	-			
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0	-		3.0	3.0
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0	-		3.0	3.0
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
1.3 吸音		3.0	0.30	3.0	-		3.0	3.0
2 温熱環境		2.6	0.35	-	-	2.6		
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-			
1 室温設定		3.0	0.30	3.0	-		3.0	3.0
2 負荷変動・追従制御性		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
3 外皮性能		3.0	0.20	3.0	-		3.0	3.0
4 ソーン別制御性		3.0	0.50	3.0	-		3.0	3.0
5 温度・湿度制御		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
6 個別制御		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
7 時間外空調		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
8 監視システム		3.0	-	3.0	-		1.0	3.0
2.2 湿度制御		1.0	0.20	1.0	-		3.0	3.0
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-		3.0	3.0
3 光・視環境		3.0	0.25	-	-	3.0		
3.1 昼光利用		3.0	0.30	-	-			
1 昼光率		3.0	0.60	3.0	-		3.0	3.0
2 方位別開口		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-		3.0	3.0
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-			
1 照明器具のグレア		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-		3.0	3.0
3.3 照度		3.0	0.15	-	-			
1 設計照度		3.0	1.00	3.0	-		3.0	3.0
2 照度均斉度		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-		3.0	3.0
4 空気質環境		3.8	0.25	-	-	3.8		
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-			
1 化学物質汚染	JIS・JUS規格のFをほぼ全面的に採用している	4.0	1.00	3.0	-		4.0	3.0
2 鉱物繊維対策		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
3 ダニ・カビ等		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
4 レジオネラ対策		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
4.2 換気		3.3	0.30	-	-			
1 換気量	建築基準法を満たす換気量の1.4倍となっている	4.0	0.33	3.0	-		4.0	3.0
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-		3.0	3.0
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-		3.0	3.0
4 給気・排気ダクト計画		3.0	-	3.0	-		3.0	3.0
4.3 運用管理		4.0	0.20	-	-			
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-		3.0	
2 喫煙の制御	喫煙室を設置している	5.0	0.50	-	-		5.0	
Q-2 サービス性能			0.30			4.6		
1 機能性		3.8	0.40	-	-	3.8		
1.1 機能性・使いやすさ		3.7	0.60	-	-			
1 広さ・収納性	1人当りの執務スペースが9㎡以上	4.0	0.33	3.0	-		4.0	3.0
2 情報設備への建築・設備的対応		3.0	0.33	3.0	-		3.0	
3 バリアフリー計画	ハートビル法利用円滑化基準を満たしている	4.0	0.33	3.0	-		4.0	
1.2 心理性・快適性		4.0	0.40	-	-			
1 広さ感・景観	天井高2.7m以上かつ、窓を設置している	4.0	0.33	3.0	-		4.0	3.0
2 リフレッシュスペース	休憩室、喫煙室、飲料自販機を設けている	5.0	0.33	3.0	-		5.0	
3 内装計画		3.0	0.33	3.0	-		3.0	3.0
2 耐用性・信頼性		6.7	0.31	-	-	6.7		
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-		3.0	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-		3.0	
2.2 部品・部材の耐用年数		13.9	0.33	-	-			
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.29	-	-		3.0	
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.12	-	-		3.0	
3 配管・配線材の更新必要間隔	耐用年数16年以上、30年未満	40.0	0.29	-	-		4.0	
4 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.29	-	-		3.0	
2.3 信頼性		3.4	0.19	-	-			
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-		3.0	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-		3.0	
3 電気設備	非常用発電機を設置、浸水の危険性が少ない	4.0	0.20	-	-		4.0	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-		3.0	
5 通信・情報設備	光ケーブル、PHS網で通信手段の多様化を図っている	4.0	0.20	-	-		4.0	

3 対応性・更新性			3.5	0.29	-	-	3.5
3.1 空間のゆとり			4.0	0.31	-	-	
1	階高のゆとり	階高3.8m以上	4.0	0.60	3.0	-	
	2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.1～0.3未満	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.4	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
	2 給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
	3 電気配線の更新性	配線用の配管、ケーブルラック、OA床をもうける	5.0	0.11	-	-	
	4 通信配線の更新性	配線用の配管、ケーブルラック、OA床をもうける	5.0	0.11	-	-	
	5 設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
	6 バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q-3 室外環境(敷地内)				0.40	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		外壁を道路からセットバックさせ、空地は緑化に努めている	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			1.5	0.30	-	-	1.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		1.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	3.6
LR-1 エネルギー				0.40	-	-	4.0
1 建物の熱負荷抑制			3.0	-	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.5	0.29	-	-	3.5
2.1	自然エネルギーの直接利用	居室は極力窓からの採光を考慮している	4.0	0.50	-	-	
	2.2 自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの効率化		高効率器具を採用している	5.0	0.43	-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.29	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR-2 資源・マテリアル				0.30	-	-	3.6
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水	節水型便器を採用している	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム		3.0	0.67	-	-	
	2 雑排水利用システム		3.0	0.33	-	-	
2 低環境負荷材			3.6	0.85	-	-	3.6
2.1	資源の再利用効率		3.7	0.35	-	-	
	2 躯体材料の再利用効率		3.0	0.67	-	-	
2	非構造材料の再利用効率	インターロッキングブロックにリサイクル資源利用品を採用す	5.0	0.33	-	-	
	2.2 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.04	-	-	
2.3 健康被害のおそれが少ない材料			3.0	0.08	-	-	
2.4 既存建築躯体などの再利用			3.0	0.18	-	-	
2.5 部材の再利用可能性		躯体と仕上材は容易に分別できる	5.0	0.18	-	-	
2.6 フロン・ハロンの回避			3.3	0.18	-	-	
1	消火剤	該当物質を使用していない	4.0	0.33	-	-	
	2 断熱材		3.0	0.33	-	-	
	3 冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR-3 敷地外環境				0.30	-	-	3.1
1 大気汚染防止		空調機器について低NOx対応品を採用する	4.0	0.15	-	-	4.0
2 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.15	-	-	3.0
2.1	騒音・振動		3.0	0.50	-	-	
	2.2 悪臭		3.0	0.50	-	-	
3 風害、日照障害の抑制			2.0	0.15	-	-	2.0
4 光害の抑制		屋外照明の光が近隣住宅の窓に漏れないよう配慮している	5.0	0.10	-	-	5.0
5 温熱環境悪化の改善			2.0	0.30	-	-	2.0
6 地域インフラへの負荷抑制		十分な駐車・駐輪スペースを敷地内に確保している	4.0	0.15	-	-	4.0

■ LR-1 用途別得点表		工場	-	-	-	面積按分 総合スコア
		4020 m ²	-	-	-	
1 建物の熱負荷抑制		-	-	-	-	-
3 設備システムのERRによる評価		-	-	-	-	4.4
高効率化 個別設備による評価		4.4	-	-	-	
3.1 空調設備		-	-	-	-	-
3.2 換気設備		-	-	-	-	-
3.3 照明設備		5.0	-	-	-	-
3.4 給湯設備		1.0	-	-	-	-
3.5 昇降機設備		-	-	-	-	-

4.0	3.0
4.0	3.0
3.0	3.0

3.0
3.0
5.0
5.0
3.0
3.0

1.0
5.0

1.0
2.0

-

4.0
3.0
4.4

3.0
3.0

4.0

3.0
3.0

3.0
5.0
2.0
3.0
3.0
5.0

4.0
3.0
3.0

4.0

3.0
3.0

2.0
5.0
2.0
4.0